

プレス加工の技術を追求、顧客の信頼を獲得

企画力
自信有
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



プレス加工で製造した電池、蛍光灯、電子部品の外装部品など

業務内容

乾電池部材を
年10億個以上供給

25t60tプレスを用いて、0・1mm・1mm程度の厚さの小物を中心に、乾電池、電子部品、精密機器などに使用される部材をプレス加工で生産し、大手メーカー各社に年間10億個以上供給している。創業当初の特殊電池用紙部品加工から金属部品加工へと移行してきた中で、一貫してプレス加工、金型製作の腕を磨いてきた。

強み 高精度加工を支える 金型製作技術

ステンレス、鉄、アルミなどの厚み0・3mm以下の薄板の深絞り加工、しごき加工、微細加工を得意とする。蓄積してきたプレス加工技術により、連続生産においても寸法誤差がきわめて小さい高精度加工で顧客から高い評価を得ている。高い精度の加工を支える源には、プレス加工技術もさることながら、金型製作技術がある。順送金型、トランスファー金型などすべての金型を自社で設計、製造し、要求される加工によって最適な金型を使用する。このため単に部品をつくるだけでなく、顧客と商品設計の段階から部品の用途や重要性について十分コミュニケーションをとり、同社からも提案を行っている。

善活動 3S活動を軸に 社内を改善

高精度、高品質で顧客の信頼を勝ち得てきた同社は、品質管理を徹底している。治京寛社長は「常に社内を見回り、気になる点を改善するようにしている」

と率先垂範で改善活動に取り組んでいる。最重点とするのは安全確保だが、3S（整理・整頓・清掃）活動を基本に品質向上を含めた社内の力を上げる基本となるのは、同社の場合、各現場で高い技能を持つ人材が揃っており、今後は生産現場における多能工化を進めていく。さらに技術営業推進のため、営業部門への技術者配置にも着手しており、「商品開発段階での顧客との打ち合わせにおいて、生産技術についてその場で説明ができる」と手応えを感じている。



本社工場

今後の展望 中国・上海で生産、 部品用途も拡大

乾電池の国内生産は縮小傾向にある。それに伴い同社の国内受注もピーク時の3分の1にまで減少、単価下落もあいまつて環境が厳しくなっている。状況を打開する方法は二つ。国内に比べ成長の見込める海外に進出すること、供給する部品の用途を拡大することだ。同社は平成19年に中国・上海に進出した。100%乾電池関連の部品を生産しており、今では国内での生産と肩を並べる規模にまで拡大している。一方、国内工場では、プレス加工、金型製作のコア技術を乾電池以外の用途に展開している。蛍光灯口金の加工では既に実績を重ね、LED（発光ダイオード）照明の口金も製造している。今後、他分野展開をさらに積極化する方針で、公的支援制度も活用しながら医療機器分野などへの進出を狙う。

COMPANY PROFILE

株式会社治京製作所

大阪26

ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

創業者の治京正明が電池部品工場で金型職人としての腕を磨き、12年間の下積みを経て独立しました。昭和24年に高槻市内で乾電池部品のプレス加工業として創業。特殊電池用の紙製品加工で製品の出来栄、歩留まりの良さが顧客に認められ、事業を拡大してきました。金属部品も取り扱うようになり、工場の移転・拡張、設備増強・自動化を進めました。独自のプレス加工、金型の自社開発を進めるとともに、各部門が連携し会社全体の発展と技術向上に努めています。

精密プレス加工で社会に貢献して参ります。
薄板のプレス加工はぜひ当社におまかせください。

代表取締役社長 治京 寛さん



■主な事業内容

精密プレス加工（電池部品など）と金型の設計・製作

■主な取引先（納入先）

大手電機メーカー、
大手精密機器メーカー

住所／〒569-0063
高槻市南庄所町14-1
TEL／072-675-0788
FAX／072-674-0418
創業／昭和24年4月
設立／昭和37年11月
資本金／1,000万円
従業員／42名

<http://www.jikyo.jp/>